

2021年度リーグ戦要項

参加資格

- ・リーグ戦実施年度に公益財団法人日本サッカー協会第4種加盟登録したチーム（準加盟チームを含む）及び選手であること。
- ・上記チームの構成は単一チームに限られる。
- ・上記チームに所属する選手であり、JFA発行の登録選手証を有すること。
（確認事項がある場合もあるので必ず持参すること）
- ・各チームは、参加選手の写真が添付してある2021年度選手証の一覧をメールにて事務局へ送信返信された電子確認印付エントリー表を持参し試合ごとに提出すること。
- ・同一参加選手が**7月末以降**、異なる加盟登録チームの移籍後、再び参加することはできない（リーグ戦も全日同一大会に含まれる）
- ・大会参加者は必ずスポーツ安全傷害保険に加入していること。加入のない選手は参加できない。
- ・参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ること
- ・出場チームの指導者は内1名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認D級コーチ以上の資格を有すること。（エントリー表に氏名、エントリーナンバー記入）

チーム構成

- ・チームの構成は、選手10名以上20名以内、引率指導者2名以上4名以内とする。

競技方法

- ・1チーム8人の競技者によって行われる。本大会は第一試合開始前に8人に満たない場合、試合を開始する場合その日すべての試合を棄権し得点を0対5として敗戦したものとみなす。試合中にケガ等による人数不足により8名に満たなくなった場合、そのまま続行する。
↑上記試合終了後、その日残りの試合がある場合においては、1つ前の試合の最終人数が次の試合の先発人数とする。
- ・22チーム、2ブロックによるリーグ戦。
- ・試合時間は40分（20分ハーフ）とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
- ・1日にできる試合数は2試合まで、それ以上は行わない。

競技規則

- ・公益財団法人日本サッカー協会サッカー競技規則2020/2021年度版及び『8人制サッカー競技規則と審判法』ならびに西濃大会要項に準ずる。
- ①交代要員12名とし、12名までの自由な交代を適用する。
（一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする）
 - ②ベンチに入ることができる人数は12名（交代要員2～12名、引率指導者2～4名）とする。
・試合当日ベンチに引率指導者が帯同審判を含めずに2名以上に満たない場合は不戦敗としリーグ戦成績を0-5の得点で相手チームの不戦勝とする。
 - ③ベンチでの電子通信機器（スマートフォン等）の使用については公益財団法人日本サッカー協会サッカー競技規則2020/21 第4条一競技者の用具 4. その他の用具：電子通信に準ずる
※使用に関しては競技者の保護や安全に直接関係する場合の使用が望ましい
 - ④テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の引率指導者が伝えることができる。
 - ⑤飲水タイムまたはクーリングブレイクの必要性がある場合の有無は監督・審判会議時に決定する。
 - ⑥負傷者の対応として、主審が認めた場合のみ最大2名ピッチへの入場を許可される。
 - ⑦グリーンカード制度を導入する。

⑧ユニフォームは濃淡2色準備すること。GKはFPと異なる色を用意する。
アンダーシャツ、スパッツはユニフォームの袖やパンツと同色のこと。

⑨本リーグ戦において警告を2枚受けた選手は次の1試合は出場できない。
また、退場を命じられた選手は次の1試合に出場できずその後は委員会にて決定する。

- 審判**
- ・ 審判は主審1名・予備審（スタンバイレフリー）1名で行う。
 - ★審判1人制を採用することにより技術の向上ならびに選手のフェアプレー精神を養う
 - ★審判員を信頼し判定に対して不平不満を表さない
 - ★審判の判定に従いつつ、ラインアウトについてはプレイヤーから申告する
フェアな姿勢を養う
 - ★指導者や保護者など大人のフェアプレー精神を養う
 - ・ 予備審は、ベンチコントロールを確実にを行う

- 会場準備**
- ・ 会場準備人数、後片付けは運営担当チームが決定する。
 - ・ 必ず全チームで大会運営に協力する。

会場ごとで取り決め事項が異なるので、リーグの会場責任者の指示に従う。

- 中止の決定**
- 雨天時などによる中止の決定は運営担当チームが会場責任者と相談の上決定する。
決定時刻は各ブロックに一任する。

- 感染症対策**
- 各チームとも会場に入場できるのは30名（選手、スタッフ、保護者の合計）
参加同意書、参加者名簿3枚（本部提出分、会場提出分、チーム保管分）を準備
会場へは参加者全員揃ってから参加者名簿提出後本部にてチェックを受けて入場すること
名簿に名前のない保護者等は入場できない